

■英国：最大手の生活協同組合が電力・ガス小売市場に参入

地元紙は 2011 年 5 月、英国最大手の生活協同組合（コープ）が家庭用需要家を対象に電力・ガス供給を開始すると報じた。コープは再生可能エネルギーで発電した電力（グリーン電力）を販売する予定であり、今年中に 1 万軒の需要家を獲得し、2020 年までに少なくとも 100 万軒の契約を獲得したいとしている。現在、英国では、ビッグ 6 と呼ばれる 6 大事業者によって供給が行われているが、コープの戦略が成功すればビッグ 7 となる可能性がある。現在、規制当局（OFGEM）では、複雑な電気・ガス料金制度を問題視しているが、コープでは単純な料金メニューを提供するとしている。